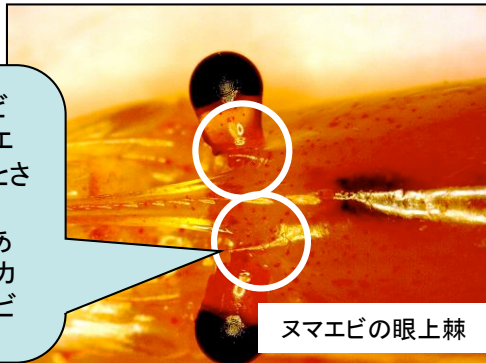


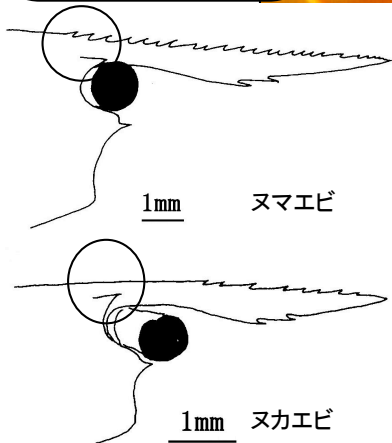
(2) ヌマエビ科のエビ類

ヌマエビ科 ヌマエビ属 (属の特徴: 眼上棘があること)

ヌマエビ科ヌマエビ属はヌマエビとヌカエビ(ヌマエビの亜種とされる)の2種。この属は眼上棘があり、ヒメヌマエビ属、カワリヌマエビ属のエビには無い。



ヌマエビの眼上棘



ヌマエビ属の特徴

* 最大の特徴は眼上棘があることです。

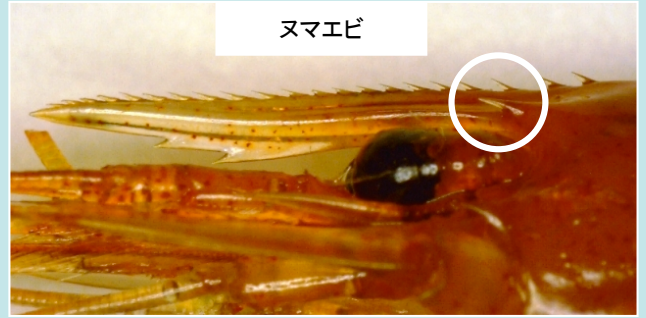
種の簡単な見分け方

額角上縁はほぼまっすぐ伸び細かい鋸歯があることは共通。その内2, 3歯が頭胸甲上(眼より後側)にもあるのがヌマエビ。

頭胸甲上には歯がないのがヌカエビ。

ヌマエビ科の額角比較

ヌマエビ



ヌカエビ



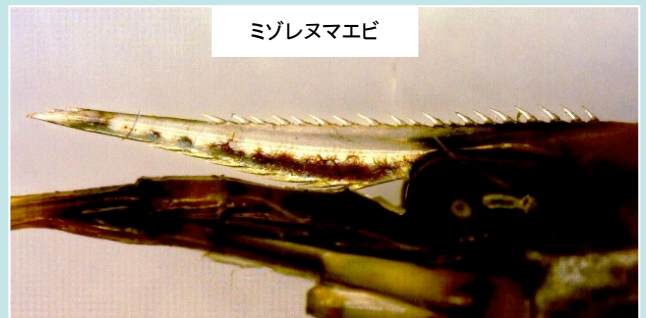
ヤマトヌマエビ



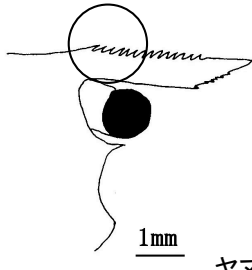
トゲナシヌマエビ



ミゾレヌマエビ



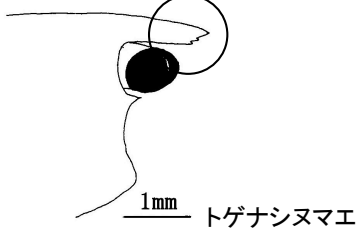
ヌマエビ科 ヒメヌマエビ属(眼上棘はない 13~14種)



ヤマトヌマエビ

額角はやや下向きに湾曲し上縁は直線状。

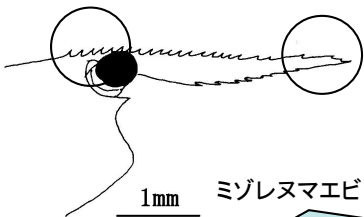
上縁には16~17本の小歯が並び先端付近に歯は無い。下端には3~17本歯がある。



トゲナシヌマエビ

額角はやや下向きに湾曲し極短い。

上縁には歯は無い。下端に0~3本歯がある。



ミゾレヌマエビ

額角は真っ直ぐかやや上向きに反る。

上縁は12~30本の歯が並び内頭胸甲上に2~3歯ある。先端付近に歯は無い。下端には3~17本歯がある。

ヒメヌマエビ属の中には両側回遊性のエビが多く含まれていてロマンを感じさせてくれる属です。日本には13~14種類が生息しているとされますが、もともと南方に起源を持つ種のグループで、南日本特に琉球諸島に固有種が多いようです。千葉県はその生息北限と見られています。